

「景観デザインと街づくり」



小泉雅生  
建築家  
(有)小泉アトリエ

平成25年2月15日 京橋創生館AGCスタジオにて第179回フォーラムを開催。「景観デザインと街づくり」と題して建築家 小泉雅生氏にご講演いただきました。

第22回AACA賞・優秀賞を受けた「象の鼻パーク/テラス」についてのお話は興味深いものでした。

赤レンガパークと山下公園を結ぶ中間に、象の鼻の形をした横浜港発祥の地があり、横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間として「象の鼻パーク/テラス」を設計・デザインされたのです。大きな広い空間に赤い屋根のテラス、氏のコンセプトは、シンボルでなく日常的に親しみをもつ街づくり、みんなが集まれる場所づくり、小さなものを集めて包容力のある大きな風景をつくりたいという考えだと伺いました。



「象の鼻パーク」は子供たちの歓声の響く昼間とは別の幻想的空間になる夜の顔をもっていてその輝きは目を見張ります。照明デザイナー東海林弘靖氏との共同設計で仕上がりました。「象の鼻」中央部分から曲線を描き小・中・大の69枚のスクリーンパネルが点灯して、ブルーライトヨコハマとなり恋人たちの世界が始まります。時間によって金色、セピア色に変わります。映像で見ますと幻想そのものです。座りたくなるような恋人たちのベンチも設置されていて人はみんな優しい気持ちになれるのかなと想像いたしました。



遊歩道からテラス方向

夜景

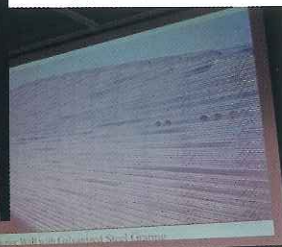


その他の建築事例として鴻巣市文化センターの特徴的な迷彩模様、戸田市立芦原小学校の心のよりどころとなる親しみのある建築、また、黄金町新スタジオでは再開発でなく市民が自然に参加し求心力となって変わりました。

小泉雅生氏はじめ多くの建築家に参加している素晴らしいプロジェクトです。戦後の黄金町、日の出町のイメージは全く変わったのです。



「鴻巣市文化センター」



「戸田市立芦原小学校」



「黄金町新スタジオ」



小泉雅生氏は建築に夢と希望を託し、また人びとへの限りない優しさをもって「景観デザインと街づくり」を完成されたのです。



講演会終了後、隣に席を移し、ワイン・チーズ・カナッペ・果物でミニパーティをしました。参加者40人近い中でほとんどの方が残られパーティに出てくださったことにフォーラム委員会一同感激いたしました。

(文責 村松勢津子)